新型コロナウイルス感染症対策に関する
当院からのお願い

当院では感染予防対策の一環として、
発熱や風邪様の症状のある方の直接の来院はお断りしております。
まずは、お電話※（0977-66-4111）でお問合せください。

また、当院は呼吸器専門医療機関ではありませんので、以下の症状（目安）に該当する方は、最寄りの保健所へ連絡し受診医療機関の相談をしていただきますようお願い致します。

- 37.0℃ 以上の発熱がある。
- だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- せき、鼻水、喉の痛みなど風邪に似た症状がある。

【県内の新型コロナウイルスに関する相談窓口について】

・大分市保健所(大分市)	097-536-2222
・東部保健所(別府市・杵築市・日出町)	0977-67-2511
・国東保健部(国東市・姫島村)	0978-72-1127
・中部保健所(臼杵市・津久見市)	0972-62-9171
・由布保健部(由布市)	097-582-0660
・南部保健所(佐伯市)	0972-22-0562
・豊肥保健所(竹田市・豊後大野市)	0974-22-0162
・西部保健所(日田市・九重町・玖珠町)	0973-23-3133
・北部保健所(中津市・宇佐市)	0979-22-2210
・豊後高田保健部(豊後高田市)	0978-22-3165

また、当院では全ての来院者に検温をお願いしています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※お問合せ時間は、午前8時30分～午後5時までとなります。

外来受診および入院予定の患者さん、ご家族、付き添いの方へ
院内感染防止の大切なお願い

■院内におけるマスク着用のお願い

当院を受診される患者さんやご家族、付き添いの方にはマスクの着用をお願いしています。
入院予定の患者さんは、予定入院期間で必要なマスクのご準備もお願いいたします。
診療等でマスクを外す必要がある場合には、お声掛けをさせていただきます。

■入院延期の可能性について

入院予定の患者さんで、以下のいずれかに該当する方は、入院の予定を延期させて頂く場合があります。

1.ご本人・同居家族の中で以下の症状がみられた方
　① 37.0℃以上の発熱
　② だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)
　③ せき、鼻水、喉の痛みなど風邪に似た症状
　④ 嗅覚・味覚障害
2.過去２週間以内にご本人・同居家族の中で海外渡航歴や県外への移動がある方
3.過去２週間以内に接触した者に新型コロナウイルス感染（PCR検査が陽性であるが発熱等の症状がない者を含む）が確認された方
4.過去２週間以内にカラオケ、ライブハウス、バー、ナイトクラブなど密閉・密集・密接場所に行かれた方
5.過去２週間以内に新型コロナウイルス感染症が発生している施設に立ち入った方

１～５のいずれかに該当する方やご質問のある方は、お電話※（0977-66-4111）でお問合せください。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※お問合せ時間は、午前8時30分～午後5時までとなります。

面会者・訪問者の方へ
院内感染防止の大切なお願い

2020年2月29日(土)より、新型コロナウイルスの感染防止対策ため、

原則としてご家族も含め面会をお断りしております。

但し、以下の場合は除きます。

1.入院・退院など手続きの時
2.手術立会いや医師説明などの時
3.その他、病院側で必要と判断した時

また、入館する全ての方に対し、下記事項の厳守をお願いします。

1.マスクの着用をお願いします。
2.手洗い、手指消毒をお願いします。
3.日常での検温・健康チェックをお願いします。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症に関するＱ＆Ａ

内閣官房内閣広報室「新型コロナウイルス感染症に備えて」より引用・改変

■新型コロナウイルスとは？

これまでに、人に感染する「コロナウイルス」は、７種類見つかっており、その中の一つが、昨年12月以降に問題となっている、いわゆる「新型コロナウイルス （SARS-CoV-2）」です。このうち、４種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10～15％（流行期は35％）を占め、多くは軽症です。残りの２種類のウイルスは、2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群（ＳＡＲＳ）」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群（ＭＥＲＳ）」です。コロナウイルスはあらゆる動物に感染しますが、種類の違う他の動物に感染することは稀（まれ）です。又、**アルコール消毒（70％）などで感染力を失うことが知られています。**

■どうやって感染するの？

現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の２つが考えられます。

（１）**飛沫感染**

感染者の飛沫（くしゃみ、咳（せき）、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

（２）**接触感染**

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。

■新型コロナウイルスに感染しないようにするためには？

（１）**手洗い**

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

（２）**普段の健康管理**

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

（３）**適度な湿度を保つ**

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60％）を保ちます。

■ほかの人にうつさないためには？

＜咳エチケット＞

咳エチケットとは、感染症を他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離でおよそ２ｍとされています）が、一定時間以上、多くの人々との間で交わされる環境は、リスクが高いです。感染しやすい環境に行くことを避け、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。

■新型コロナウイルス感染症が疑われる症状は？

発熱などのかぜ症状について、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気による場合が圧倒的に多い状況です。風邪やインフルエンザ等の心配があるときには、これまでと同様に、かかりつけ医等にご相談ください。

新型コロナウイルスへの感染のご心配に限っては、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」にお問い合わせください。特に、以下の条件に当てはまる方は、同センターにご相談ください。

・風邪の症状や37.5度以上の発熱が４日以上続く場合
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

・強いだるさ（倦怠感（けんたいかん））や息苦しさ（呼吸困難）がある場合　高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など））がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方

・風邪の症状や37.5度以上の発熱が２日程度続く場合 ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合